

[様式第13号]

[特例政令適用一般競争入札]

## 質 疑 応 答 書

工事名 第3南蒲生幹線工事1

整理番号	
130510198	
質 問 事 項	回 答
1. 発信基地予定箇所は、被災した施設が存置されていますが、発信立坑の施工は、何年何月から開始と考えればよろしいでしょうか。	被災施設の有無に関わらず立坑工事の施工を制限するものではありません。 別紙工程表(参考)を参考に計画してください。
2. 一次覆工終了後に坑内の軌条設備や配管材の撤去を行います。工程上は日進何mで、何班施工でお考えでしょうか。	提示することは出来ません。
3. シールド一次覆工、二次覆工以外の明り工事における不稼動日は1ヶ月当り何日と考えればよろしいでしょうか。	4週8休です。
4. シールド一次覆工、二次覆工の不稼動率は10日(不稼動率1.5)と考えてよろしいでしょうか。	4週8休です。
5. 発信基地での交通誘導員Bは何人計上されているでしょうか。	発進立坑部には『シールド工(発進立坑部/補)作業日1人/日』を計上しています。
6. 到達立坑での作業時(地盤改良、シールド機解体)は、本工事で交通誘導員を配置するのでしょうか。	本工事では配置しません。
7. 岡田ポンプ場圧送管接続工における交通誘導員Bは何人計上されているでしょうか。	圧送管接続工には『φ400mm管布設工(岡田ポンプ場部/補)作業日2人/日』を計上しています。

注1 この質疑応答書は、設計図書等に対して質問がある場合(見積りに必要な事項に限る。)に提出してください。会社名を記入する必要はありません。

第3南蒲生幹線工事1

参考

